

この情報は、山武農業事務所のホームページでも公開しています。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-sanbu/sanbu/gyoumu/gijutsujohou.html>

稲作農家 各位

山武稲作情報 第1報(2017年5月23日発行)

山武農業事務所 改良普及課

電話 0475-54-0226

FAX 0475-52-7914

山武地域の生育状況

3月下旬から4月上旬の低温により、苗の生育がやや遅れました。移植後は、4月下旬の低温や強風が影響し、初期生育の遅れが見られています。また、植え付けの遅かったほ場やスクミリンゴガイ対策で水を落としたほ場では生育が停滞傾向にあります。さらに、一部地域でスクミリンゴガイによる被害が発生しています。

参考 生育調査ほの調査結果 (調査日 5月19日)

品種	場所	年	移植日	葉令	草丈 (cm)	茎数 (本/株)	茎数 (本/m ²)
ふさ おとめ	山武市 (白幡)	29	4/26	5.8	22	6.3	148.1
		28	4/30	6.2	24	4.2	93.2
		平年値	4/28	5.9	25	7.9	131.1
ふさ こがね	山武市 (成東)	29	4/25	6.0	26	10.2	188.7
		28	4/26	6.3	25	13.3	246.1
		平年値	4/30	5.3	23	7.9	146.2
コシ ヒカリ	東金市 (幸田)	29	4/28	5.5	27	4.1	77.1
		28	4/22	6.4	33	14.5	259.6
		平年値	4/23	5.7	32	7.6	133.5
コシヒ カリ	山武市 (成東)	29	4/25	5.4	28	10.8	199.8
		28	4/26	5.7	25	8.9	164.7
		平年値	4/30	5.1	27	6.7	123.2
ふさの もち	山武市 (成東)	29	5/10	3.3	18	4.0	74.0
		28	5/10	3.7	18	4.1	75.9
		平年値	5/9	3.9	18	4.3	79.6

平年値は過去10年間(ふさのちは7年間)の平均値。

今年度からコシヒカリのほ場が東金市北之幸谷から東金市幸田に変更となりました。

おねがい

田植えが終わってからも飼料用米に変えることができます。飼料用米の取組に御協力ください。また、御協力いただける方は、住所地の市町(地域農業再生協議会)まで御連絡ください。

郵便で配信している方へお願い

稲作情報の配信を郵便から、電子メールまたはFAXへ切り替えを進めています。電子メール・FAXをお使いの方は、下記までご連絡ください。

連絡先 水鳥 k.mztr@pref.chiba.lg.jp、 0475-54-0226 (電話)

ジャンボタニシを防除しましょう

病害虫発生予察注意報「スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）多発生のおそれ」（5/12付け）が発表されています。山武地域でも、大きな被害を受けている圃場がみられます。被害を防ぐための対策を行きましょう。

【この時期の主な防除対策】

- ①苗が小さく被害を受けやすい移植後3週間（4葉期まで）は、4cm以下の浅水で管理。
- ②水口に目合い5～10mmのネットを設置し、水路からの侵入を防止する。大きなネットならゴミは詰まりにくくなります。
- ③水田や水路の貝を捕殺し、卵は捕殺または水中に払い落とす。
※貝に寄生虫が感染している場合があるので素手で触らない。
- ④薬剤による防除を実施する。



ネットによる侵入防止の例

表. 主な防除薬剤

薬剤名	使用時期／使用回数	使用量 (10a 当たり)	備考
スクミノン	収穫 60 日前／2 回以内	1～4kg	殺貝
スクミンバイト3	発生時	2～4kg	殺貝・食害防止
スクミハンター	収穫 45 日前／3 回以内	1～2kg	食害防止
クタジンP 粒剤	本田初期／2 回以内	3～5kg	殺貝・食害防止
パダン粒剤 4	収穫 30 日前／6 回以内	4kg	食害防止

※パダン粒剤 4 の使用回数は苗箱処理の回数を含む。なお、農薬登録情報は平成 29 年 5 月現在

まだ被害が見られない地域でも、貝や卵を見つけた場合は捕殺するなどして生息域の拡大を防止しましょう。**侵入させない、数を増やさないために早めの対策が重要です。**

飼料用米栽培のポイントについて

山武地域でも「アキヒカリ」「夢あおば」等、飼料用米の多収品種の作付が広がっています。多収品種の特徴にあった栽培を行い、収量を確保しましょう。

【多収品種「アキヒカリ」の特徴と栽培のポイント】

「アキヒカリ」は短稈で倒伏しにくい品種です。5月中旬の移植で8月下旬～9月上旬に収穫できます。

多収品種「アキヒカリ」の栽培のポイント

○水管理

冷害に弱い品種です。幼穂形成期～穂ばらみ期に日平均気温 20℃以下の低温が予想される場合は深水で管理し、保温に努めましょう。

○追肥

出穂前 30～20 日に窒素成分で 10a 当たり 3kg を追肥します。

ただし、葉色が低下した場合は追肥時期を早くします。

○病害虫防除

発生状況に応じて適切に実施しましょう。

○収穫

収穫適期は出穂後 35～40 日です。

次回の情報は 6 月 5 日（月）に発行する予定です。